



長浜 音一 議員

防災・減災力と行政運営能力との相関について

問 私どもの会派、政研・市民ベースの会は、「激震！迫る危機、絶体絶命の瞬間、町長・町民は？」をテーマに、未来塾セミナーを開催した。南三陸町長にも来ていただき、実体験に基づく講演をしていただいた。講演を聴講して市長が学んだことは。

また災害発生時の公助には限界があるといわれるが、その連携・補完でもある自助力・共助力向上に果たす行政の役割は大

きい。そのためには、行政改革の一環でもある行政マネジメント、組織・人材マネジメントの改善・見直しが求められるが、今後の行政運営において、どのように捉えていくのか伺う。

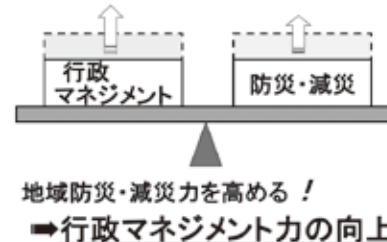
答（市長） 宮城県南三陸町の佐藤町長の講演は、市長として大規模災害時での意思決定の困難さは想像を絶すること等、大変参考になった。先に開催した市長と語ろうまちづくりの企画においても、説明内容や資料作成に活用させていただき、自助、共助の重要性、判断の遅れは命取りになること等、参加者の皆さまにお話しさせていただいた。

答（総務部長兼危機管理監） 職員個々が災害リスクなどに的確に対応できるような自主的な能

力向上への努力が求められている。今後とも人材育成ビジョンに基づき、能力向上、組織力の強化に努め、能力を最大限発揮できるように指示していきたい。

答（生活安全部長） 公助は本来の役割とともに、自助、共助の向上のためサポートする重要な役割も担っており、今後とも出前講座等を通じ、災害時の行動や備えの周知、啓発を図っていききたい。また地域防災リーダーの育成などにも努めていきたい。

行政運営能力向上⇨防災・減災力向上



秋庭 繁 議員

市は監査委員会の意見をどう受け止めるのか

問 水道工事を受注した市内の水道業者が、提出書類の遅延など不誠実な行為を繰り返した。このことに対し監査委員会は、水道業者の不誠実な行為や市が工事遅延による損害金の請求をしたことは事実であり、市に対して再発防止に努めること、請負業者から提出された書類の内容を審査することや、工事全般に係る業務について関係法令を遵守するよう指導の徹底を望む

等の意見があった。また、一定期間契約実績のない事業者などについては、状況に応じ、契約履行能力や信用度を調査し、古河市建設工事請負業者指名委員会の審査を行うことの検討についての意見もあったが所見を伺う。



水道管布設替え工事

答（市長） 監査委員会より、市の手続きについて問題はなかったが、水道業者の不誠実ととも対応が随所に見られ、市は対応に苦慮したとの意見があっ

た。受注者に対しては、遺憾に思っている。今後の対応として、監査委員会からの意見を尊重し、運用基準を明確にするよう検討するとともに今後の入札審査等に生かしていきたい。

答（総務部長兼危機管理監） 再発防止として、入札参加資格を付与された建設業者に対し、経営事項審査の結果など経営状況に変更が生じた場合については、事業者より速やかに届け出をするなど関係法令の遵守を研修会等を通して指導していきたい。

《その他の質問》

・「入札契約業務適正化審議会」の設置について